

第3期和光市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査について

1. 実施する調査の種別

和光市では、「第3期和光市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて、以下のアンケート調査を実施することを予定しています。

■実施予定のアンケートの概要■

調査対象	調査数	調査方式	調査時期
就学前児童の保護者	2,000	紙・Webの選択式	令和6年2～3月
妊婦	約300	紙・Webの選択式	令和6年2～3月
小中学生	約1,000	Webのみ	令和6年2～3月

2. 就学前児童保護者調査の概要【資料2-2】

子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート調査の主たる目的は、子ども・子育て支援事業や放課後子ども健全育成事業の見込み量（量の見込み）を算出するためのデータを取得することであり、量の見込み算出については、国のモデル調査票を用いた算出の手引きが示されています。和光市ではこのモデル調査票を基に、必要性の薄い設問を削除し、また独自の調査項目を設定し、保育・教育及び子ども・子育て支援事業ニーズが的確に把握できるようにしています。

国の調査様式の特徴

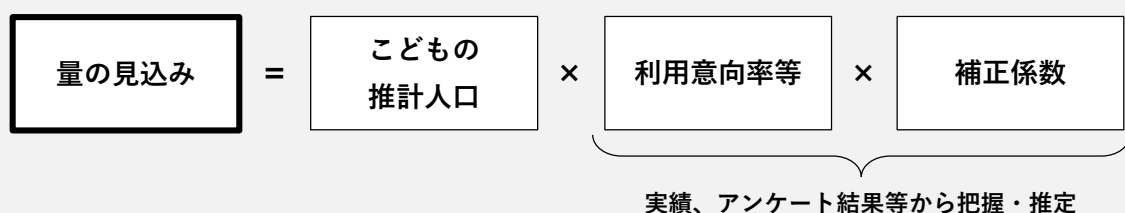
- 「家庭類型を分類するための設問群」と「ニーズを把握するための設問群」の2段階構成
- 国が提供する算出用ワークシートを活用して量の見込みを算出することが主な目的であるため、必須項目については改変が難しい
- 家庭類型ごとにどのようなニーズがあるのかを把握するために有効

留意点

- 設問数が非常に多く、回答者の負担となる
- 国の調査様式は「利用希望調査」であり、必ずしも「希望（ニーズ）量」＝「必要量」とはいえない
- 国の調査様式を活用した場合であっても、「量の見込み」が現状から大きく逸脱した結果を示すことがある

■量の見込み推計モデル■

第3期計画策定に向けた、量の見込み推計モデル



3. 妊婦調査の概要【資料 2-3】

和光市では妊娠期から就学期まで切れ目のない支援体制としてわこう版ネウボラ相談支援体制を整備・推進しています。

妊娠、出産、育児その他健やかな子育てに関する現状分析と今後の望ましい方向性等について検討を加え、地域の母子の健康や生活環境の向上を図るための体制の確立に向け、効果的な母子保健施策の推進するために、独自で妊娠中の女性への調査を行います

4. 小中学生調査の概要【資料 2-4】

第3期和光市子ども・子育て支援事業計画策定にあたり、こども基本法に基づいてこどもの意見を聞き、施策に反映させる必要があります。

今回和光市では小学校4年生と中学校1年生に対して独自のアンケート調査を実施することとしました。

アンケート調査票を作成するにあたり、国のこどもの意見聴取の手法の例を参考にし、市内の2つの児童館行き、遊びに来ていた小中学生に対して直接対面で話を聞き、プレアンケートを実施しました。

【プレアンケートの概要】※アンケート結果の詳細は【資料 2-5】

実施場所	日時	回答者
下新倉児童館	令和5年12月1日(金) 16時00分～17時30分	12人(小学校2年生2人、 4年生7人、中学校2年生3人)
南児童館	令和5年12月4日(月) 16時00分～17時30分	9人(小学校1年生1人、 2年生2人、3年生3人、 4年生2人、6年生1人)

※【参考】国のこどもの意見聴取の手法として、次のような手法を例示しています。

